

【評価実施概要】

事業所番号	0171400971		
法人名	医療法人 やわらぎ会		
事業所名	グループホーム 第三やわらぎ		
所在地	函館市桔梗町379番48号 (電話) 0138-47-7725		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成21年3月21日	評価確定日	平成21年3月31日

【情報提供票より】(21年 2月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 5 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤 12 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 6 人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り 平屋建て
	階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く) 暖房費 3,000円

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費29,000 円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,500 円

(4) 利用者の概要(2 月 1 日現在)

利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護 1	6名	要介護 2	2名
要介護 3	8名	要介護 4	2名
要介護 5		要支援 2	
年齢	平均 96 歳	最低 74 歳	最高 100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	共愛会病院、亀田北病院、やまもと歯科、山谷かみいそペインクリニック
---------	-----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、桔梗駅より車で5分程の閑静な高台に位置している。母体は医療法人で北斗市にグループホームが2箇所と老健施設、居宅介護支援事業所などの併設施設がある、老健施設の事務長がグループを総括しており、やわらぎの管理者が総合ホーム長で、管理者や職員の研修会、勉強会を実施し、サービスの質の向上に努めている。管理者は、利用者を優先し、行きたい所、思い出のある所での外食、大型スーパーの散策などを職員と1対1の外出を実施して絆を強くしている。職員は、利用者の個性に合わせ臨機応変に対応しているので明るい雰囲気のある事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善課題である地域との交流は、周辺が民間のアパートであり異動が激しいため困難なようであるが、地区との交流が今後の改善課題である。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は職員全員で取り組み作成している。日頃気づかなかったことや良かったことなど、振り返る機会となり、改善について取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は3ヶ月ごとに実施している。感染症予防、一般救急救命講習や家族の意見、要望など活発な意見交換があり出席メンバーとは有効な会議であるが、町内会会長が一度より参加していないので、今後は町内会加入を視野にいれた取組みが望まれる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	運営推進会議の中で家族からの意見や要望がある時は、本部に報告し、職員間で話し合い運営に反映している。家族の訪問の時も気軽に声かけをして話を聴くことを心がけている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	きずな会や体操ゲーム、民謡の慰問などボランティアを積極的に受け入れているが、地域との連携に工夫が望まれる。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設以来、母体組織の理念をそのまま利用しており、地域密着型サービスとして事業所としての独自の理念を作り上げていない。		管理者は見直しする意志があるので、地域密着型サービスを取り入れた事業所独自の理念を作成することが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、毎朝のミーティングの時ケア理念について確認し共有しているが、地域密着型サービスについては取組んでいない。		地域密着型サービスとして何が大切かを見極め、理念を見直し、職員全員で共有することを期待する。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所の周辺は民間のアパートが多く、近隣住民との交流は困難のようであるが、町内会に加入しておらず地区の行事に参加することもなく孤立しているように見受けられる。		夏祭りなどの行事は併設の3箇所のグループホームと合同で隣の市で実施しているので、地元での交流が希薄になりがちである。事業所が孤立することがないように努力することを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者と職員は評価の意義とねらいについて理解している。自己評価は全職員で取り組み、日頃の気づかなかったことを話し合い、改善に繋げている		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>3ヶ月ごとに運営推進会議を実施し、事業所の行事報告や保健所から感染症やキャラバンメイトの話を聴いたり、消防署からは一般救命救急講習を受けている。参加家族からは意見や要望を聴いてサービスの向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>毎月1回は市役所のケースワーカーが訪問し情報の収集と意見交換をしている。亀田支所保健師とキャラバンメイトの打ち合わせをするなど連携をとっている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>遠方の家族には月1回、ホーム便りと暮らしの様子、健康状態、金銭の出納を領収書を添えて報告している。来訪時に確認してもらう家族など個々に合わせ報告している。預かり金は1万円以下と決めていて、利用者は小銭程度を手元に置き混乱がないよう支援している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議の中で家族の意見や要望を聴いたり、面会時に声がけし会話の中からも取り運営に反映している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>併設の施設内で職員の異動があったが、利用者は先輩であるので、丁寧な態度で接しており親切に教えていてダメージはなく、すぐに馴染みの関係となり混乱はない。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>系列グループホーム間で年に5回～6回の研修会を実施している。職員はケアマネジャーや介護福祉士の資格取得のために勤務体制を調整し、育成のために全職員が協力的である。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>母体組織のグループホームは勿論のこと、地域の同業者と相互に訪問し事例発表や意見交換をしてサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心してサービスを利用できるよう家族と一緒に見学したり、職員が自宅を訪問して馴染みの関係作りをしている。時々帰宅準備する利用者には付き添い、見守りなどの支援をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者から調理の方法や味付けなど教わるが多く、利用者は誕生日のプレゼントに感激の涙を流すこともあり共に心を寄せ合う関係である。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々かかわりの中でその人らしく暮らせるために職員は意向を把握している。意思疎通が困難な時は、表情や態度から意向をくみ取り支援をしている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人と家族から課題やケアについての要望を聴き、ミーティングの中で意見交換をして介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的には6ヶ月ごとの見直しであるが、職員は利用者1名～2名を担当し、安定しているようであるが、常に変化に気づき、ミーティングで話し合い家族と相談して現状にあった新たな計画を作成している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族の都合により、通院支援、受診支援など臨機応変に対応している。夜だけ一緒にいたいと希望する家族には宿泊支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人と家族の希望でかかりつけ医は継続的に受診が可能であり、訪問診療を指定する利用者もいるなど、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>契約の時に家族に看取りに対する指針を説明して確認印をいただいている。母体が医療機関であり、重度化や看取りについてのフォーラムを開催し、全職員で方針を共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>契約の時に個人情報使用同意書を家族と交わしている。職員はさりげなく、おだやかな対応でプライバシーに配慮している。個人の記録は一定の場所に保管している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>3名の利用者は事業所を職場に勤務していると思込んでいるので、職員は時には、部下や同僚となり本人のペースに合わせた支援をしている。その日より、カラオケ、ゲームなどをして楽しく過ごすよう工夫している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は自宅の台所と変わりなく、食事の準備や調理をし味付け、後片付けをしている。職員は出来ること、出来ないことを見極め、一人ひとりに合わせ手を添えたり、アドバイスをしながら支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週4日、午前と午後入浴ができるので好きな時間に入浴している。拒否する利用者には気分転換をはかりながら強制することなく支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家族から生活歴を聴き、食器の収納にこだわりのある利用者、洗濯の好きな利用者には、感謝の言葉を伝えたり、趣味のカラオケを取り入れるなど個々に合った支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望に沿って、長距離のドライブ、好物の夕食、大型スーパーの散策、など職員と1対1の個人レクリエーションを実施しており、利用者の満足した様子を職員も一緒に喜んでおり、外出の支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関には、鍵はかけていないので、出入りは自由であるが、夜は防犯のため施錠している。居室に夜、施錠すると安心する利用者には家族の了解を得て鍵をかけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>非常口が4か所あり、外側に階段が取り付けられてあって避難時の工夫をしている。年2回消防署の指導で夜間想定を含んだ避難訓練をしているが、地域住民には声かけや協力の依頼をしていない。</p>		<p>職員だけの誘導の限界を確認して、地域の方々との協力と理解を得るよう取組むことを期待する。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分摂取量は1日1000ml以上を目安に摂取して記録をとっている。食の細かい利用者には、栄養のバランスを考え、食欲増進のための工夫をするなど個々に合わせた支援をしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間はバリアフリーが完備しており、不快な音や臭いもなく採光にも配慮してある。物品庫が多くあるので整理整頓が行き届き広くて清潔感がある。利用者の手づくりの手芸品が季節を感じさせ居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、自宅から持ち込んだ馴染みの調度品や日用品があり、家族の写真や花を飾るなど居心地よく過ごす工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。